



13

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年8月2日号

編集 / 毎日新聞社販売局D. クリエーションセンター

シリーズ 疫病と人間

柳井正さん(ファーストリテイリング会長兼社長)

8日(土)、一部地域は9日(日) = 特集面



ファーストリテイリング会長兼社長の柳井正さん = 写真 = は、新型コロナウイルスによる危機を契機に「原点からの再出発」を訴えます。

経済発展した結果、日本人はハングリ-精神を失い「アリとキリギリス」のキリギリスになっていたと指摘。今回の危機をきっかけに、一人

人がもう一度原点に立ち返り、生きることの意味を問い直すよう呼び掛けます。

論点

戦後75年 戦争遺構・記憶の継承

7日(金) = オピニオン面

終戦から75年の年月が流れ、自らの体験として戦争を語る事ができる人たちの高齢化が進み、その数は減り続けています。戦争の惨禍を二度と繰り返さないように次世代へ歴史

の教訓を伝えるため、私たちが今、取り組まねばならないことは？ 老朽化や風化が進む戦争遺構をどう残すのか、体験者たちの記憶や思いを継承するにはどうすればよいのかなどに

ついて考えます。



?

「ワーケーション」を考える

7日(金)

IIくらしナビ面

働き方改革の模索する。仕事と余暇を組み合わせたいという新しいスタイルは、2010年ごろから欧米の中心に広がりをみせた。日本でも多様な働き方を模索する。

リモートワークの普及。政府が推進する。突然、リモートワークの普及。政府が推進する。突然、リモートワークの普及。政府が推進する。突然、

詳細は記事をご覧ください。ワーケーションの実践は、コロナ禍からの子連れワーケーションから実践してきています。

特集ワイド

片桐はいりさんインタビュー

3日(月) = タ刊特集ワイド

コロナ禍で映画館などのエンターテインメント業界は試練に立たされています。シアターの入り口でチケットの半券をもぎ取る「もぎり」のボランティアを続けてきた俳優の片桐はいりさん

(57) = 写真 = は、今も行きつけの映画館「キネカ大森」(東京都品川区)に通い続けており、劇場で映画を堪能する喜びを共有できる日を心待ちにしているといいます。劇場を訪ね、片桐さんにイ

ンタビューしました。



【宮澤暁子】 8月13日、関東地方の梅雨明けが近づき、暑さが増す中、竹橋の窓から、編集後記

